

2017年 腸管出血性大腸菌O157感染症報告数(第1週～40週)

第30週(7月24日～30日)及び第32週(8月7日～13日)から報告数が増加。

※10月17日現在

腸管出血性大腸菌感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づき、**全ての医師が、全ての患者の発生について届出を行う感染症**となっています。(食中毒以外の事例も含む。)

